

令和4年度 第1回甲賀市社会教育委員の会議 定例会議事録

日時：令和4年（2022）年6月28日（火）
15時～17時

場所：水口図書館2階会議室

出席者（委員） 沢井委員、岡村委員、姉川委員、西村委員、坂上委員、石田委員
上甲委員、井ノ口委員、辻委員 立岡委員、古賀委員、
以上 11名

（事務局）教育委員会事務局 山本部長、田村次長、三日月課長、
岡崎参事、上村補佐、森地指導員 以上6名

傍聴者 なし

1. 開会

委員12名中、11名出席。甲賀市社会教育委員会議規則第3条2項の規定により過半数を満たし会議成立。

2. 委嘱状交付

事務局山本部長より委嘱状交付。

3. 開会の挨拶（山本教育部長）

- ・出席のお礼とコロナ感染症の状況（レベル1）
- ・今年度は、委員改選期にあたること。
- ・会議テーマは引き続き「地域学校協働活動を推進するために」でお願いしたい。
- ・知の拠点である学校と文化を育んできた地域とが一体となって本テーマ迫ってきたい。（コミュニティースクール「以下 CS」と地域学校協働活動の一体的推進）
- ・委員の皆様には地域の声を拾いつつ、ご指導・ご助言をお願いしたい。

4. 委員・事務局職員自己紹介

- ・順次自己紹介

5. 正副委員長の選出

- ・社会教育委員会議規則第2条第1項には「委員の互選により定める」となっているのでご意見をいただきたい。（事務局案なし）
- ・沢井委員にお願いしたい。→本人了解。副委員長は女性にお願いしたい。
- ・岡村委員にお願いしたい。→青少年の職務があるがどうか。

- ・兼ねてもらっていてよい。→本人了解。
- ・新委員長挨拶。1番長く委員をさせてもらっている。皆さんのご協力を得てテーマに迫りたい。

6. 議長選出

- ・社会教育委員会議規則第2条第2項には「委員長は、会議を総理し、会議の議長となる」により、以後、委員長議事進行。

(1)各種委員会の委員について

- ・県社会教育委員連絡協議会…委員長
- ・市青少年育成市民会議…副委員長
- ・市人権教育実行委員…姉川委員

(2)当面の委員会・研修会について

- ・県社会教育委員連絡協議会研修会 7/21 米原市
希望者申し出。市で公用車準備。人数制限なし。
- ・近畿地区社会教育研究大会 9/2 奈良県
希望者申し出後調整。7名迄。
いつまでか。県報告7/8なので市締切7/1。委員長出席希望。

7. 社会教育委員の役割等について

(1)「滋賀の社会教育委員活動ハンドブック（R4.3 発刊）」により事務局説明

- ・社会教育法第17条の説明（P11）
- ・社会教育委員の人数 県下の状況説明（P13）
- ・同上任期、年間の会議回数（P14）

(2)提言書…県下の状況や本市の提言実績を説明

(3)質問…新委員の方ありませんか。

→範囲が広いので、これから勉強していきたい。（新委員）

8. テーマ「地域学校協働活動」について

(1)事務局説明1

- ・本テーマにかかる審議経過
H30…5回（現地研修：大原小）、R1…5回（文科省高木氏講話）、
R2…4回（現地研修：貴生川小）、3/29 提言書提出
R3…4回定例会（教育委員と社会教育委員の懇談会2回）
- ・4年度の計画について
<概要>
R4…定例会のテーマについては、前年度3月に決定しているのでこれで進めてほしい。
① 地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていく体制づくりを構築したい。
② 令和4年度は、地域学校協働本部が5つの小学校で設置予定。

- ③ 社会教育委員の会議については、夢の学習事業とこれからの社会教育のあり方についても併せて審議いただきながら進めていきたい。

<審議内容等>

- ① 地域学校協働活動の推進と進捗管理
- ② 提言 6 項目の具現化に向けた審議
- ③ 夢の学習事業とこれからの社会教育のあり方の審議
- ④ 視察及び研修並びに課題検証
- ⑤ 次年度以降の地域学校協働活動に係る審議

(2)事務局説明 2

- ・ 前回の提言書内、提言 6 項目について（提言書 P16・17）

(3)提言 6 項目についての質疑・応答

- ・ 社会教育委員がどこにあてはまるのか。委員が何をすればいいのかが不明。
- ・ 冊子に「行動する社会教育委員」とあるが、私たちはどこでどうすべきなのか。
- ・ 行動する社会教育委員、その一つは、「情報をとってくる」と思う。
- ・ いろいろな役職を経験する中で本テーマに関して思うことは、①学校も自治会も推進しなければならないテーマであること、②少子高齢化社会の中で、学校と地域は協力が必要であること、③「地域学校協働活動とは何か」と尋ねられた時、説明しなくてはならないことである。
- ・ いろいろな立場で学校と関わっているが、個人として、あるいは社会教育委員として学校に入っていくことをどう考えたらいいのか。
- ・ 学校から得た情報や社会教育委員会から得た情報を出していきたい。
- ・ 地域学校協働活動推進員、地域マネージャー、社会教育指導員と社会教育委員との連携をどう進めていくのか。
- ・ 自治振興会と学校が先ず連携することが大事。
- ・ 学校を管轄する教育委員会と自治振興会の総合政策部との連携が大事。
- ・ 子育て支援については、地域マネージャーがよく動いている。
- ・ 貴生川では、地域マネージャーと中央公民館関係者に入ってもらっている。
- ・ 地域マネージャーと社会教育委員の連携のありようは。
- ・ 地域マネージャーはどこに常駐しているのか。
→市民センターにいる。
- ・ 市民センターと公民館の連携の話はどう進んでいるのか。
→今、動いているところの状況を見て、社会教育指導員とも繋いでいきたい。
- ・ 地域マネージャーは正規職員か。→正規職員はいない。会計年度任用職員。
- ・ 地域マネージャーが情報交換する機会はあるのか。
→数は不明だが、全体集会と旧町単位で情報交換をしている。
- ・ 自治振興会の動きがまちまち。熱心なところの地域マネージャーはよく動いている。
- ・ 地域マネージャーが学校でデスクをもらってはどうか。

- ・私の地域では、困り事があれば地域マネージャーが動いている。
- ・当初、立ち上げはCSが先か地域学校協働活動が先かよくわからなかった。現在も立ち上げができない、またはむずかしい原因は何なのか、はっきりさせたい。
- ・各校は提言書を見ているのか。
- ・学校では提言書は見えていないが、6項目で分かっているのは、昨年度の研修会に参加したので1番目の項目（学校・地域住民への情報提供・理解の促進）。学校内での課題が多いので、この領域の動きはできていない。どういう順序で進めていけばいいのかを教えてください。
- ・校長が自治振興会にお願いに行ったケースもあるが、学校毎に課題があって、進んでいない。
- ・「夢の学習」などを頑張って取り組んでいただいているので、推進の基盤はできていると思っている。
- ・地域学校協働活動は何のためにするのかを理解し、たちまち、どうすればいいのかを明らかにしていきたい。
- ・貴生川小に見られるように「なぜ立ち上げに成功したのか」、逆に「なぜ立ち上がらないのか」を何らかの形でまとめていく必要がある。
- ・立ち上がっている所の推進員の話も聞きたい。→早急に場をもちたい。
- ・提言書を各校に配布してはどうか。
- ・研修会に参加した学校は、それなりに理解ができていると思う。
- ・配布は、学校に「地域学校協働活動はよいものだ」との理解を進めるうえで大事。

9. 閉会・その他

- ・資料の送付を早くしてほしい。会議は、夜でなく、昼間にしてほしい。

副委員長挨拶

皆さんの協力で無事定例会が終了した。今後の進め方にもメドがついた。

- ・次回開催予定

8月 「提言6項目の具現化に向けて、委員の活動提案」「研修」

(以上)